ウミネコ Larus crassirostris 種名 分類 チドリ目 カモメ科 尾の先に黒い帯がある中形のカモメ類。日本海付近の特産種で日本国内では北 海道、本州、九州に集団繁殖地があり、個体数は多い。青森県蕪島、岩手県椿島、 宮城県陸前江ノ島、山形県飛島、島根県経島が集団繁殖地として天然記念物に指 特徴 定されている。非繁殖期には全国で見られ、1~2歳の若鳥は1年中各地で見られ 繁殖期には海岸の崖などにコロニーを作るが、安全で、他の海鳥と競合しないと ころでは平らな地面に一面に営巣する。ほとんどの場合、前年と同じ場所で営巣し、 つがいの相手も同じことが多い。産卵期は場所によって違うが4~5月、卵数は2~3 生活 個でオス、メスともに抱卵し、日数は 24~25 日位である。非繁殖期は数十羽から数 百羽の群れで生活し、トウゾクカモメのように他の海鳥を攻撃し、餌を横取りすること もよく行う。 カモメ類の中ではオオセグロカモメとともに、もっとも普通に鳴き声が聞かれる鳥 声 である。繁殖地では「ミャーオ、ミャーオ」とか「クヮーオ、クヮーオ」と鳴き立てている。 人などが立ち入ると「クヮックヮッ」とか「クァー」という鋭い声をあげて攻撃してくる。 成長の〈ちばしは黄色〈て先に赤と黒の模様があり、脚は黄色い。背中と翼上面 見分け方 は濃い灰色で尾の先に黒く太い帯がある。 12 時期 (月) 2 3 8 10 11 その他 全長(L)47cm 翼開長(W)120cm 参考文献:山渓カラー名鑑 日本の野鳥